

黒田龍之助  
Ryunosuke Kuroda

【黒田龍之助の語学書書評・特別編】

# 次の文章を読みなさい

～ フランス語入門書の文体論



的に教えるという態度ではないのです。「〜まじょう」とやさしく誘いかけています。

他はどうかでしょうか。数江譲治『フランス語のABC』は一九八一年に出版されたロングセラーです。最近CDが付きました。しかしちょっと古いので、文体が違つかもしれないと考えて、覗いてみました。

ところがこの予測は外れました。この本もコレクションと同じように「ですます調」です。たとえば「フランス語では、名詞はすべて男性または女性のどちらかに属します」という具合です。白水社では「いぶん前から」ですます調なのです。知りませんでした。それでわたしもこのエッセイは「ですます調」にしてみました。

もちろん「である調」の語学書もあります。京都大学フランス語教室編『実習フランス語教程』がそうです。しかし五八〇頁もある硬派な本ですから、その文体が違うのも当然でしょう。これはむしろ例外です。

さて「フランス語のABC」を読んでいたら面白いことに気がつきました。それは練習問題などに対する指示文です。「鼻母音に注意しながら読みなさい」「定冠詞は『le』のいすれかをつけ、声に出して読みなさい」というふうに「いついつた文だけは」〜なさい」なのです。

これはどうしてなのでしょう？ ヒントはそのまえがきにあります。

「この頃までのフランス語は大学などが中心のようです。一般の方々も無視しているわけではないのですが、どうしても授業のように教師が「指示文を与える」という感じになってしまつてはいませんか？

もう少し古いものを見てみましょう。いまでは絶版になってしまった朝倉季雄『白水社フランス語講座』は一九六九年の発行です。これも本文は「ですます調」なのですが、指示文は「次の名詞の意味を言い、その前に不定冠詞を用いること」のようになっています。

どうやら、「こ」に文体の特徴が現れるような気がしてきました。さらに見てみます。石野好一『CD活用フランス語の入門』はフランス語文法のあらましを身につけるまでの案内役を目指している入門書です。その指示文はどうでしょう？

「次の女性名詞の男性名詞を考えて下さい」「次の男性名詞を女性形にして下さい」「〜しなさい」ではなく「〜してください」と少しやさしくなっています。「コレクション」と「ABC」の間といったところでしょうか。他に「次の名詞に」「」の指示に従って冠詞をつけましょう」というものもありました。

ところで、フランス語の語学書の文体を考えるとときに忘れてはいけません。それは清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある』です。題名からして「フラ語」なんていつているくらいですから、それはもう斬新です。「さ」これから、めぐるめくつら語ワールド一周の旅！に出

## 愛書狂

某地方紙を開いたら思いもよらなかつた人の連載小説が載っていた。「君釣りに行きませんかと赤シャツがおれに聞いた。赤シャツは気味の悪い様に優しい声を出す男である。丸で男だか女だか分かりやしない。いわずと知れた夏目漱石『坊っちゃん』である。「名作を読む」というただし書きがついているものの、全四九回の連載で、毎日挿し絵が入り、もっともらしい見出しもつく。この日の見出しは「男だか女だか分かりやしない」。聞いてみると、べつにパロディのつもりではないらしい。単に版權が切れたから掲載可能になったとのこと。最近の地方紙ではちょっとした流行らしい。毎朝『坊っちゃん』を読んで出勤する人がいるかと思つて不思議な気分。しかし、もっと驚いたのは、思いがけないものをオマケにつけた直販雑誌だ。鉄道模型キットとか水彩画の画材とかをオマケにつけたテレビのCMで見るグラフィック雑誌があるでしょう。あれですあれ。あれのオマケが夏目漱石『こころ』だったのである。ほかには太宰治や坂口安吾などがラインナップされていて、全冊コレクションすると、鉄道模型ならぬ文学全集ができるという寸法。安っぽいながら、表紙は昔の全集みたいなデザイン。これも版權切れゆえに可能になったお商売らしい。新聞連載小説も食玩ならぬ読玩(?)も、目の前に出されてみれば、ああなるほど」の物件なのだ。でも、田舎本が身近にある人には、こんな発想できない気がする。文庫本があるじゃんとか思う人はもう失格。これが出る頃にはCMが流れているだろう。にしても漱石さすがは千円札の人物だ。文豪フィギュアまでは私も考えたことがあるのだが。(洗)

# 移動する思考のノマディズム

## 「旅するニーチェ」リゾートの哲学

岡村民吉著



「ニーチェの主要著作は、ほとんどすべて、彼の母国の外で書かれた。病気を理由にバーゼル大学を退職した一八七九年以降、「健康」をもとめて、あらゆるリゾート地を二〜三エはめぐり歩く。ヴェネツィア、サンモリッツ、ジェノヴァ、ア・ニース……。それらはすべて、「暗雲に覆われ、不健康な」ドイツ帝国以南」であり、国家の首都

からは遠い周縁地帯であった。彼にとつて、歩行はすなわち思考。スイスの湖畔、曲折した山道、泉、洞窟などを歩き回ることで、「哲学的啓示」は生まれていった。ひたすら旅行者として生き抜いた十年間は、彼の著作活動の中で、もっとも多産なディケイドだったのだ。たとえそれがトリノでの発狂に至る病の進行とパラレ



# 本を探す散歩

## 「ニューヨークの古本屋」

常盤新平[著]

ストロブ・ドブック・ストアは世界一大きな古本屋であるという。どれだけ大きいかわからない。ウィントン・スクエア・パーク周辺のヴィレッジは、迷路と横丁の街である。アーウィン・ショー「夏服を着た女たち」のマイケルとフランセスは、晴れた冬の朝、五番街からヴィレッジへやってきたのだ。そんなことを思いながら、アン・ストリートと小路に入ると、この短い横丁に古本屋があった。書棚はみなゆがんでいて、本が整然と並べてある。左側の通路の左

# 命を懸けた壮絶な旅の記録

## 「チベットの潜人者たち」

ラサー・番乗りをめざして



「この本で語られるのは、外の世界に固く門戸を閉ざしたチベットに何とか足を踏み入れようとした人々の、ときに信じがたく、ときに悲劇的で、ときに身の毛もよだつような物語である」(まえがき)本書は、ヒマラヤという天然の大防壁に守られ、中世以来ヨーロッパ人の想像力をかきたて彼らを魅了してきた、この神秘の国への

侵入の歴史を語る。十九世紀半ばにイギリスやロシアなどヨーロッパ帝国主義の列強がチベットの国境地帯へとその触角を伸ばし始めると、金鉱に代表される自国の資源や独自の生活様式・宗教が脅かされることを危惧したチベットは、ついに国を閉ざした。禁断の地となったチベットへの

たつた理論よりも、「他の場所・風景のなかで」触発される思考を重視したのだ。

本書は、ニーチェがたどった風土を実際にフィールド・ワークして思想家の体験をなぞった健脚のノマディズムを説明しようと執筆した、単なる思想分析とも伝記とも一線を画した労作である。「リゾート」という概念が生まれ、鉄道開発が急速に発展した十九世紀、その時代における旅行者「ニーチェ」の視線を共有するために、著者撮影による風景写真を数多く収録した。四六判 二二〇頁 定価二五二〇円(本体一四〇〇円) 6月上旬発売

# 耽美家と魔術師たちの饗宴

## 「世紀末の夢」 象徴派芸術(新装版)

フィリップ・ジュリアン[著]



「オール・ヌーヴォー」の再評価につれて、十九世紀の終りの二十五年のあいだに花開いたいわゆる世紀末の芸術に対する関心が高まり、一時はすっかり忘却の底に沈んでいた芸術家たちが再び浮上して、熱いまなざしを浴びるようになった。世紀末の画家、詩人たちは夢の怪獣キマイラの命じるままに、反物質文明の道を追求め、神秘でもあればエロティックでもあるような作品をおびただしく生み出していたのだ。

手は文芸書の棚で、まっさきにSを探した。だがショーは長編だけで、目当ての本はない。別の古本屋にもやはりショーの短編集はなかったが、気が変わった女、フロイド・デル・グレニツチ・ヴィレッジの恋、ジェイムズ・サバー・ロスとの歳月」初版本の三冊を、眼鏡の青年のころへ持っていった。

# 文庫クセジュ

【0874】  
「コミュニケーションの美学」  
ジャン・コトヌ著

ベンヤミン、ヴァイトゲンシュタイン、アドルノ、デリダ……西洋哲学の巨匠たちは、自らの美的経験をどのように表現してきたか？

【0875】  
「核融合エネルギー入門」  
ジョセフ・ワイス著

太陽で起きている現象を地球上で再現する巨大プロジェクト、ITER(国際熱核融合実験炉)が、実現しようとしている。二〇五〇年、世界のエネルギーシステム全体は危機的状況に陥ると予想されるが、核融合発電は燃料資源枯渇や地球温暖化への有効な手段ではないかと考えられている。

教師アン・テイラー、フランスのデュトルイユド・トランスと続き、やがて圧倒的な軍勢力を背景に外交官としてラサに乗り込んだヤング・ハズバンドで終止符を打つ。本書の登場人物たちはそれぞれに探検記や紀行を残しているが、ジャーナリストとして長年活躍してきた著者は、彼らの残した膨大な資料をもとに、ひとつの壮大なドラマを紡ぎだした。神秘の国チベットのヴェールが一枚ずつはがされていくさまが、絶妙な筆致で描かれ、読者を惹きつけて離さない。今枝由郎、鈴木佐知子、武田真理子訳 四六判 三三六頁 定価二四〇〇円(本体一八〇〇円)

方、画家、詩人ばかりか芸術パトロン、女優、画商などおよそ六百人があつた。著者は彼らの「世紀末の夢」を、自在に見透かし、あざやかな

手ぎわで彼らの夢の輪郭を描きながら、同時に夢の抵抗物、夢の対立物を描き出す。思わず引き込まれてしまうゴシップめいた話題も随所にある。が同時に「ラファエル前派 モロー 象徴派 シュルレアリスム」という絵画の流れを意識するバランス感覚もあり、著者の博覧強記ぶりと相俟って、本書の大きな魅力になっている。

妖しい美しさを放つ一〇三枚の図版、ならびに巻末に付された「テーマ別サンボリスム文選」(詩と散文およそ百数十例)が本文に対応しているのも読者にとって親切で、世紀末芸術が何であったかを具体的に教わることができる。

杉本秀太郎訳 菊判 三六六頁 定価五〇四〇円(本体四八〇〇円)

# 白水社の本棚

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusisha.co.jp

**チベットの七年** ダライ・ラマの宮廷に仕えて  
ハインリヒ・ハラー「福田宏年ノ訳」  
第二次大戦勃発と同時に捕虜となつた著者はチベットに向けて脱走、苦難の旅を経て、禁断の都ラサへ……。そして幼いダライ・ラマとの心温まる交流  
【写真多数】 4725円

**ヒマラヤ巡礼**  
デイヴィッド・スネルグロウ「吉永定雄ノ訳」  
英国の仏教学の碩学がネパール西部のチベット人居住区を探索・記録した紀行の名著。仏像や壁画への造詣、最奥トルボ地方の記述は圧巻。  
3045円

**チベットの民話**  
W.F.オコナー編 金子民雄ノ訳  
「秘境」チベットの民話には、豊かな想像力と詩的情感がうかがえる。ものがたりの感触を伝える十二葉のカラー挿絵を添えて贈る。  
2940円

**ヒマラヤの民話を訪ねて**  
茂市久美子  
物語性豊かで詩情に富んだヒマラヤの民話四十一話を収集。チベットやインドの昔話はもとより、インソップやグリムやペロウの話に酷似していることに驚かされる。  
2310円

**ブイタンの民話と伝説**  
クンサン・チョデ「今枝由郎・小出喜代子ノ訳」  
古来より語り伝えられ、異文化の移入により今では減りつつあるブイタンの民話・寓話・伝説を国中の語り手を訪ね採話した貴重な民話伝説集。挿絵多数。  
2415円

# 紀行/民話

表示価格には5%の消費税が含まれています。

**ブイタンの民話と伝説**  
クンサン・チョデ「今枝由郎・小出喜代子ノ訳」  
古来より語り伝えられ、異文化の移入により今では減りつつあるブイタンの民話・寓話・伝説を国中の語り手を訪ね採話した貴重な民話伝説集。挿絵多数。  
2415円

# 誠実に生きてきた劇作家の生涯

## 「祈りの懸け橋」 評伝田中千未夫

石澤秀「著」



写真提供＝島崎光正氏

『おふくろ』『マリアの首』『教育』『千鳥』など数多くの名作を残し、一九九五年に世を去った田中千未夫。日本の演劇界が近代演劇から現代演劇へと移行するなかで、劇作・演出・俳優教育の面で若い演劇人に与えた影響は限りなく大きなものでした。本書は、九十年にわたり誠実に生き抜いた戦後最大の劇作家の生涯を、個々の作品や同時代の演劇人

の動向などと共に綴った評伝の決定版です。年譜・写真付き。家父長制の強い明治時代、鳥取で生まれ、父の希望する医者にならず、文学の道を選び、慶応の仏文科に入学しました（第一章「父への反抗と憎悪」）。こうして「家

# 懸賞マニアのあやしい世界

## 「ワンマン・ショー」

倉持裕【作】  
【第48回岸田國士戯曲賞受賞作品】



出、等々）を書きつらねまくる男の「仕事」は、飛行機に乗って町の航空写真を撮り、住宅地のように何か変化が見られたら役所に報告するというものなのだ。……。「女のよだれから始まるという奇抜さには驚くのだが、その驚きが冷めやらぬうちに、次々と、人間たちがわけのわからぬものにつき動かされてゆく様子を、太い線で描いてゆく

# 因果な人びとへのレクイエム

## 「ドライブインカリフォルニア」

松尾スズキ【作】



竹が名産の町で「カリフォルニア」という名前のドライブインを経営するアキオのもとに、妹のマリエが、甥をつ連れて十四年ぶりに帰って来た。彼女は東京でアイドルとしてデビューしたあと美容家と結婚したが、夫は不動産事業で失敗して自殺。その影響でひとり息子ユキヲは、人の話し声だけが聞こえないという障害を抱えていた……。

# 白水Uブックス1088「指輪の文化史」

浜本隆志【著】

映画『ロード・オブ・ザ・リング』でも脚光を浴びた指輪ですが、この小さな装身具には、人類の長い歴史と文化が凝縮されているのです。まず著者は、弥生時代や古墳時代に存在した日本の指輪文化が、奈良時代から江戸時代後期にかけての二一〇〇年の間、空白だった謎を提示し、この謎との関わりから、長い歴史を語るヨーロッパの指輪文化を紹介していきます。「毒入り指輪」「骸骨の指輪」「鍵つき指輪」など大変興味深い話が続きますが、なかでも「婚約・結婚指輪の歴史」と「フォーークロアの章が本書の根幹をなしています。さらに指輪

# 白水Uブックス1089「ルネサンス 美術と詩の研究」

ウォルター・ペイター【著】

著者のペイターにとつてとりわけ魅惑的と思われる幾人かの代表的なルネサンスの芸術家や学者の肖像を、静かな観察と繊細な感覚を通して描き、ひいては自身の芸術観、文学観、倫理観を提示してルネサンス時代の特性を明らかにしたルネサンス研究の古典。十二世紀のフランスの古い物語一篇に題材をとりながら、「人間精神の自由と解放」をもたらすさまざまな要素をそこに探つてルネサンスと中世を連続の位相において捉え、あるいは、ミケランジェロの彫刻のなかに、ギリシア彫刻が微妙な抽象によつて

# 白水Uブックス1070「田中一光自伝 われらデザイナーの時代」

田中一光【著】

一昨年惜しくも急逝したグラフィックデザイン界の巨匠が、自らの生涯を振り返りながら、グラフィックデザインの歴史とその社会的役割、関西と東京との文化的差異、時代の古典に対する認識など、数多くの提言を盛り込んだ次世代へのメッセージ。自伝ならではの、淡々とした口調の中に、その時代が、社会が、デザイン環境が、仲間たちが、どれほどの重要な背景をもっているかを伝えることによつて、その中に身を置き、生きてきた自分の存在を際立たせている。思わぬエピソードが語られているのも、本書の幅

# 白水Uブックス1071「エリック・サティ」

アンヌ・レヒ【著】

エリック・サティは、十九世紀末から二十世紀の前半にかけてめざましい開花をみせたフランス近代音楽の流れのなかで特異な位置を占めた存在であった。「シムノペディ」や「グノシエンヌ」といった感性ゆたかで比類なきピアノ曲は大家に愛され、コクトーの台本とピカソの舞台装置と衣装によるパレエ「パレード」ではスキャンタラスな成功を収める。その仕事は死ぬ直前まで専門家の同僚たちから冷笑の対象だったにもかかわらず、サティは生涯自らの内なるものを音で表現することを決してやめなかつた。死後、サティの作品は再評価を受け、のちにジ

# 白水社 カントの宗教哲学（上・下）

シュヴァイツァー 斎藤義一、上田開照訳

宗教哲学の根本概念「神」「自由」「魂の不死」をカントの三大批判書のなかから探った著書。最初の著作「倫理的神秘主義」の立場からカントの宗教哲学思想の展開を跡づけ、その真髄に迫る。 各5460円

# 個人と社会 人と人へ

オルテガ A・マタイス、佐々木孝訳

歴史の中で推進力として働く「慣習」の力をここに、社会的なものを人間の生についての形而上学の中に組み入れ、個人と社会との独特の現象を見出すとした、不朽のメッセージ。 3780円

# デカダンスの想像力

ジャン・ピエロ 渡辺義賢訳

神話、伝説、夢、麻薬……ロマン主義を源としシュールレアリスムを準備したデカダンスの想像力。フランス十九世紀末を特徴づける世界観や美学を解き明かす名著。 5880円

# 風景の詩学

富士川義之

現代英米文学の様々な局面を、風景志向という視点から論じたユニークな文学エッセイ。ワイズマス、ペイターからパウワント、ナボコフ、ベケットなどの見直しに迫る前衛的な試み。 4410円

# 風景の詩学

岩波書店

マイケル・ヒュージ 2730円  
ユルゲン・ハーバマス 3570円  
E・A・コーエン 3990円  
強制収容所における人間行動 3990円  
強迫症 3990円  
超越の心とは 2415円  
橋爪大三郎 6825円  
性愛論 6825円  
一般国家学 6825円

# 紀伊國屋書店

ルイ・アルチュセル 1890円  
政治と歴史 3360円  
ハイパー・ジョンソン 3360円  
差異の世界 2520円  
ボーヴォワール 2520円  
娘時代 ある女の回想 2100円  
ボーヴォワール 2625円  
女ごころ ある女の回想（上・下） 2940円  
ボーヴォワール 2625円  
或る戦後ある女の回想（上・下） 2100円  
ボーヴォワール 2415円  
決算のときある女の回想（上・下） 2100円

# 勁草書房

鈴木亨 3150円  
西田幾多郎の世界 2730円  
「語り得ぬもの」に向かつて 2730円  
落石司 2730円  
保守主義の社会理論 3045円  
S・フェルマン 3045円  
語る身体のスキャンダル 2625円  
開演録 2625円  
現代の宗教哲学 2625円

# 東京大学出版会

山口龍溪 3990円  
山本浩一（上・下） 4410円  
山本浩一（下） 5250円  
鈴木尚 5250円  
骨は語る 徳川將軍大名家の人びと 本戸日記研究會編 各8190円  
木戸幸一日記（上・下） 8400円  
和仁 6720円  
教会・公法学・国家 6720円  
日中戦争期における経済と政治

# 未来社

テオドール・W・アドルノ 2625円  
本来性という隠語 2625円  
ベネデット・クロチエ 2625円  
思考としての歴史と行動としての歴史 フォスター・マラーニ 2625円  
海女の島 触倉島 6090円  
渡辺武治 4725円  
日活アクションの華麗な世界（全） 橋川文三 4725円  
近代日本政治思想の諸相

# 書物復権

2004年8社共同復刊・書目決定！  
6月上旬刊 表示価格には5%の消費税が含まれています。

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusisha.co.jp

\*刊行は2004年6月上旬です。  
\*いずれも少数数の製作で品切れになる場合もあります。ご容赦ください。  
\*内容についてのお問い合わせは各発行出版社へお願いします。  
\*各社の復刊書の詳細は紀伊國屋書店のホームページをご覧ください。  
http://www.kinokuniya.co.jp/01fukken/index.html

「プーレスト」スワンの恋」を読む」(CD付)

吉川一義 編著

3千ページにおよぶ『失われた時を求めて』中、唯一、三人称体で語られ、独立した恋愛小説としても読める「スワンの恋」



ゆきとどいた解説と対訳で長編の抜粋を熟読し、原文の朗読を聴きながら大作の醍醐味を堪能する珠玉の1冊。

四六判 144頁 定価2520円(本体2400円)

「もし、フランス語で暮らしたら？」

原田早苗、室井幾世子、常盤僚子、ブリュノ・ペロン[著]

あなたをヴァーチャルフランス語家族の世界にご案内するのは、類 Louis、真理 Marie、沙羅 Sarah、蔵人 Claude の茂呂家の人々 Les Moreauと、いたずら小悪魔リュタン Lutin。

四六判 170頁 定価1680円(本体1600円) 5月下旬発売

「ふらんす夏休み学習号 2004」(CD付)

ふらんす編集部[編]

4月に始めたフランス語の復習をしたい、秋の仏検にチャレンジしたいという方にぴったりの練習帳。各課4ページで全8課。CDの聴取り問題もあわせ、目と耳から最初歩の総復習ができます。

B5変型 48頁 定価1300円(本体1238円) 6月1日発売

「CDエクスプレス 英(イギリス)語」(CD付)

早川嘉春、ジョン・スネリン[著]



ベストセラーの入門シリーズ《エクスプレス》にCDが付いた！ 速く着実に「読み・書き・話す」ための基礎がマスターできると大好評。

A5判 120頁 定価1890円(本体1800円)

「すぐに役立つ！ 21世紀中国語」(シングルCD付)

盧 曉逸[監修] 北京賽歐世紀文化技術服務有限公司/ジェイ・アンド・シー[編]

わかりやすい！ 見やすい！ 携帯に便利な入門書登場!! 中国語学習のカギは発音。その発音のカギは口の形です。

本書の動画付き学習ソフト(CD-ROM)は(有)ジェイ・アンド・シーより発売中

「オランダ語の基礎 文法と練習」(CD付)

クレインス桂子、クレインス フレデリック、河崎 靖[著]

「日」はdag、「週」はweek、「する」はdoenで「飲む」はdrinken.....。スプリング規則さえ頭に入れれば、英語・ドイツ語の既習者が学びやすいのがオランダ語です。

世界の文字で遊ぼう！ .....言葉のかたちシリーズ

あなたに合う文字を見つけてみませんか？ このシリーズでは、自分の名前をその言語の文字で書くことから始めます。

新刊

ギリシア語のかたち

村田奈々子[著]

ヘブライ語のかたち

山森みか[著]

ヒンディー語のかたち

小磯千尋[著]

既刊

韓国語のかたち

増田忠幸[著]

ロシア語のかたち

黒田龍之助[著]

タイ語のかたち

山田均[著]

アラビア語のかたち

師岡カリーマ・エルサムニー[著]

本の十字路
あなたがふだん何を食べているか教えてもらえればあなたは何者かを当ててみせよう、と言ったのはリア・サヴァランだが、日頃どんな辞書を用いているかでその人物像もつかえるのではないだろうか。

『本棚の歴史』(小社刊)に、かつて本は鎖につながれていた、という記述がありました。現在の私たちに、どんな感じがまるでイメージできません。

旧知の著者から絵葉書が届いた。前景に大振りの枝を伸ばした黒松が描かれ、そのはるが後方の朝もやの中を、小舟が川をゆったりと下っている。

【アテネ2004オリンピック開催記念】ギリシアを知りたい!

表示価格には5%の消費税が含まれています。

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusuisha.co.jp

Table with 2 columns: Book Title/Author and Price/Description. Includes titles like 'ギリシア語のかたち', '現代ギリシア語を 書いてみよう', '《CDエクスプレス》現代ギリシア語', '現代ギリシア語の入門', 'やさしい現代ギリシア会話', '《CDエクスプレス》古典ギリシア語', '古典ギリシア語入門'.

白水社の本棚
星のギリシア神話 W シヤードヴァルト 河原忠彦訳
ギリシア悲劇物語 H・R ジョリッフ 内村直也訳
ホメロス物語 G シヤンドン 有田潤訳
古代ギリシア人の肖像 橋塚弦訳
文庫クセジュ
ギリシア神話 999円
ホルフェウス教 999円
ソクラテス以前の哲学 999円